

## 医療・健康等に関する情報の利活用

### ライフサイエンス分野の統合データベース整備の第二段階のあり方について

JSTバイオサイエンスデータベースセンター 副センター長 高木 利久様

#### 概要

- 超高速ゲノム配列決定装置によるビッグデータ時代の到来
- DB統合を進めるため設置されたバイオサイエンスデータベースセンター（NBDC）の、第二段階のあり方については、今後CSTPで検討。
- 情報科学の知識を持ったバイオインフォマティクス分野の人材を育成するための教育システムの構築
- イメージデータ等などビッグデータへの対応
- データが集まる仕組みが必要ではないか。

※ 文科省、厚労省では、当データベースへの提供をファンディング公募要領に記載する仕組みを導入済み。

### ヒト生命情報統合研究の拠点構築

日本学術会議ゲノムコホート研究体制検討分科会 副委員長 本庶 佑 様

#### 概要

- ゲノムコホート研究を進めるための体制・拠点の整備が必要
- 包括同意の仕組み作りや、非侵襲測定機器等が重要

(参考) ICTに関連については、資料に以下の事項の記載があり。

情報の集約と一元管理、EHR情報集約技術の開発、DBの開発・規格策定、ITコミュニケーション技術の開発、インフォマティシャンの人材育成